

## 点検・評価の結果

政府統計コード	00250013
基幹・一般の別(選択記入)	その他の一般統計調査
調査の名称	犯罪被害実態(暗数)調査(安全・安心な社会づくりのための基礎調査)
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他(「令和7年版犯罪白書」に掲載)
特記事項	今回承認時(令和5年7月28日付総政審第349号)に、調査の周期を5年として承認。

## ① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 1.調査の目的</li> <li>☐ 2.調査対象の範囲 ※</li> <li>☐ 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }</li> <li>☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }</li> <li>☐ 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 }</li> <li>☐ 6.報告を求める期間 ※</li> <li>☐ 7.集計事項 ※</li> <li>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 }</li> <li>☐ 9.使用する統計基準</li> <li>☐ 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }</li> <li>☐ 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ }</li> </ul>	[ 全項目整合 ]
-----------------------------	---	-----------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②に記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<input type="checkbox"/> 課題なし <input type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	--

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容(左記の類型) (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	次回調査に向けて、報告を求める事項や調査対象者数について、より国民に分かりやすいものとするようなものとしつつ、より犯罪被害実態を把握できるようにするため、軽微変更を検討していく。例えば、性犯罪被害を始めとする各種犯罪被害に関する回答実数が少なく、その実態の詳細がつかみきれないことから、調査対象者数を増加させることや、国際犯罪被害実態調査の実施状況や内容等を踏まえながら、引き続き質問票を我が国の実情に即したものとすることが今後の課題であり、次回調査実施までに精査していく予定である。	<input type="checkbox"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 <input type="checkbox"/> 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	調査結果の信頼性・妥当性の確保や、他の犯罪についての公的統計の結果等を踏まえ、有効回収数・有効回収率について、増加・向上に引き続き努めていく。 前回調査においては、有効回収率の増加に向けて、ホームページやSNSによる広報に努めたが、より一層工夫していく。		令和6年調査 聴き取り調査の有効回収数(率) : 4,179人(60.4%) 自計方式による調査の有効回収数(率) : 4,103人(59.3%)	平成31年調査 聴き取り調査の有効回収数(率) : 3,709人(61.8%) 自計方式による調査の有効回収数(率) : 3,500人(58.3%)	平成24年調査 郵送調査による有効回収数(率) : 2,156人(53.9%)
	○ 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					